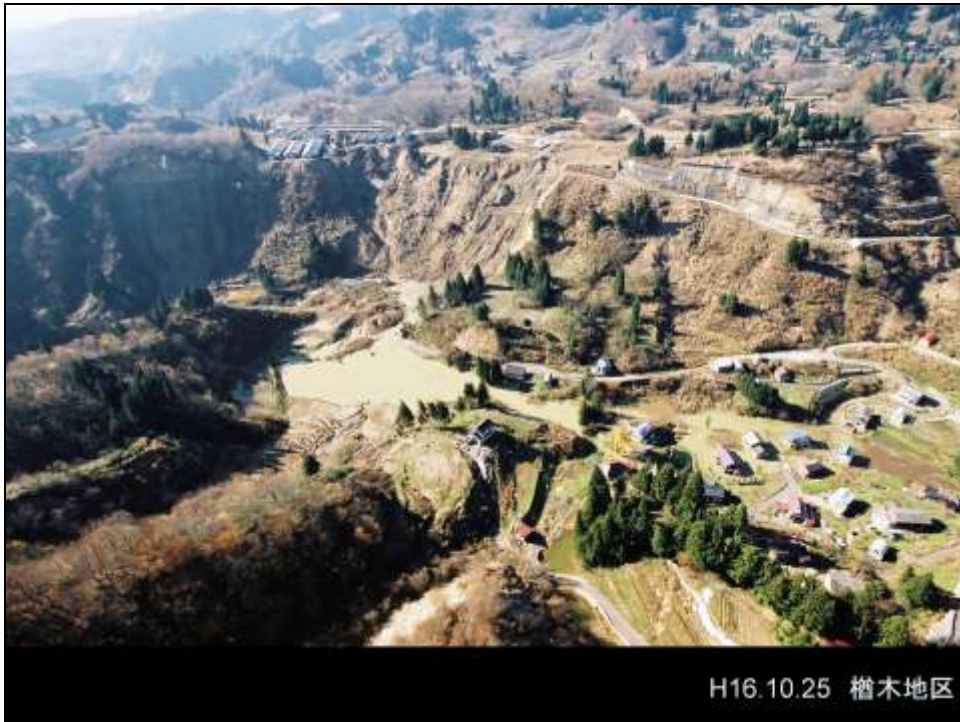


檜木・池谷地区 ビフォーアフター

2004年・2012年



泥水が溜まって元の川がどこにあったのかわからない状態。
水に浸かっている家もある。

Q: 地震で何が起きたのか？

A: 牛舎下の崖がくずれて芋川をせきとめた。

Q 今までこんなことはなかった？

檜木集落はいつできたのだろう？

A: 「檜木新田」と呼ばれていた時代があり、
江戸時代に新田開発が行われたと考えられている。
それ以来、大きな災害がなかったのだろう。



H24.8.22 檜木地区

現在はこのとおり。



H16.10.25



H24.8.22

檜木地区

ビフォーアフターで見ると、
川が固定され、斜面が緑に。
田んぼが復旧。しかし家は倉庫を残してなくなった。
檜木集落の人たちは天空の郷へ移転した。



黄色い囲み「天空の郷」

Q:ここではどんな砂防工事が行われたか？

A:川底の土砂を安定させる砂防堰堤

斜面が崩れないようにする工事。

高さ方向の長さは約100m



天空の郷は池谷小学校の跡地。



こちらは方向を変えた写真。

囲みは池谷集落

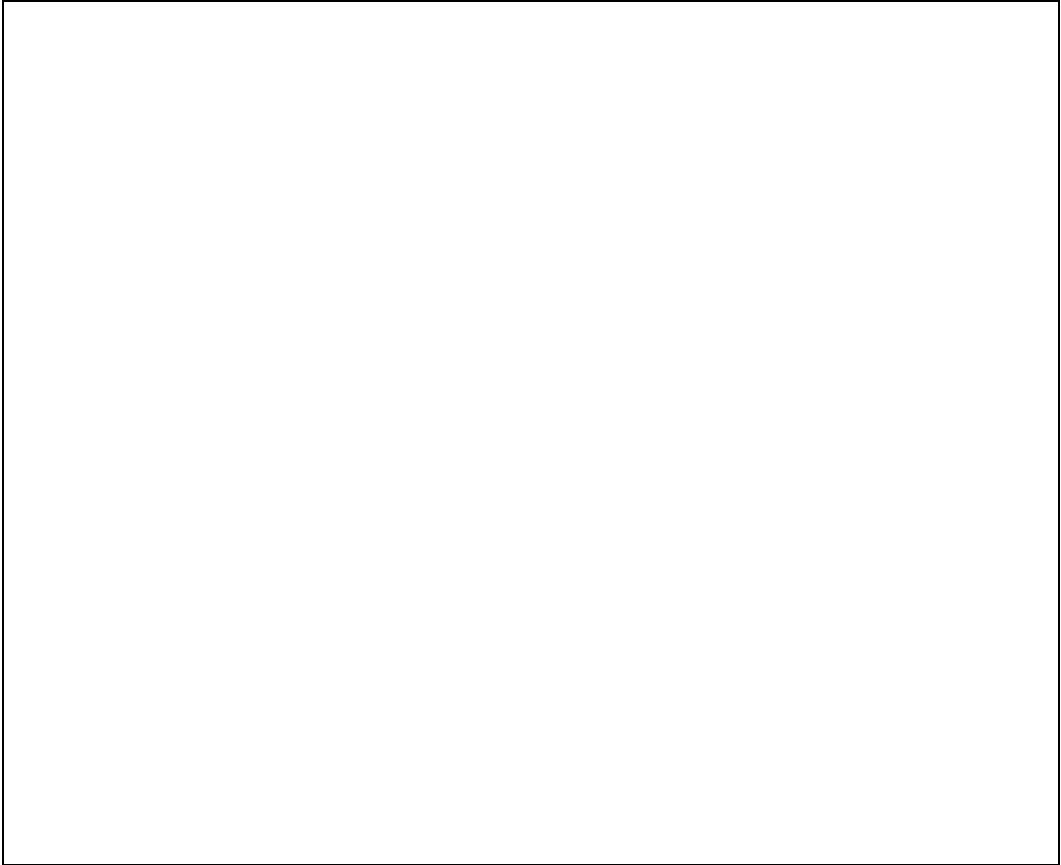
Qなぜ「池谷」という名前になったのでしょうか？

A: 2つの池があったことから。

猫又沢からの地すべりが芋川をせき止め池になった。

大久保の地すべりが東川をせき止めて池になった。

650年くらい前から人が住んだとされている。





こちらはビフォーアフター

両方8月の撮影なので、砂防工事によって土砂移動が
止まり、田んぼの復旧が進んで、地域全体が緑になったことがわかる。